

## 2011年9月期決算概要

2011年11月



株式会社 エスケーエレクトロニクス

### <ご注意>

本資料および口頭にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。しかしながら、世界経済や当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございますので、ご了解願います。

## 2011年9月期(累計)の概況

(2010年10月～2011年9月)

### FPD市場の動向

<上半期>

\* 投資動向

- ・韓国2社に中国内での第7.5世代/第8世代工場進出を中国中央政府が正式承認。
- ・台湾AUOの第7.5世代の中国進出を台湾政府が承認。
- ・急増するiPhone・iPad用パネルの安定調達へ米国アップル社が、東芝モバイルディスプレイ及びシャープの2社に、台湾のフォックスコン社が、日立ディスプレイズに新工場建設を提案。
- \* 中小型パネル市場が活況。
- \* 東日本大震災(3月11日)の影響により、一部のFPD部材、装置及びパネルメーカーが被災。

<下半期>

\* パネルメーカーの投資動向と稼働状況

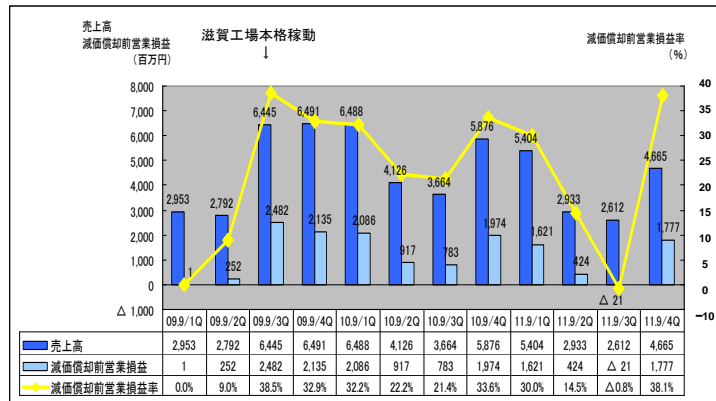
- ・投資動向: 収益悪化によりLCD第8世代以降の投資はほぼ凍結(縮小/延期/中止)。OLEDも若干遅延傾向。
- ・稼働状況: 大型パネルは全体的に低調に推移、7月以降一部メーカー除きさらに減速気味。中小型パネルは、上半期に引き続き好調。
- \* シャープ株式会社
  - ・堺工場と亀山第二工場を4月初めから操業を一時休止。5月中旬から操業再開。
  - ・亀山第二工場を中小型液晶用に転換すると発表。テレビ用は堺工場に集約。
  - ・解像度が4K2Kの60インチTVの販売を来年開始。
- \* 産業革新機構と東芝・ソニー・日立の3社でジャパンディスプレイ株式会社の設立を発表。
- \* 米国アップル社が三星電子のギャラクシータブレットの特許侵害により販売指し止め請求。

## 2011年9月期の概況と連結決算の概要

(単位:百万円)

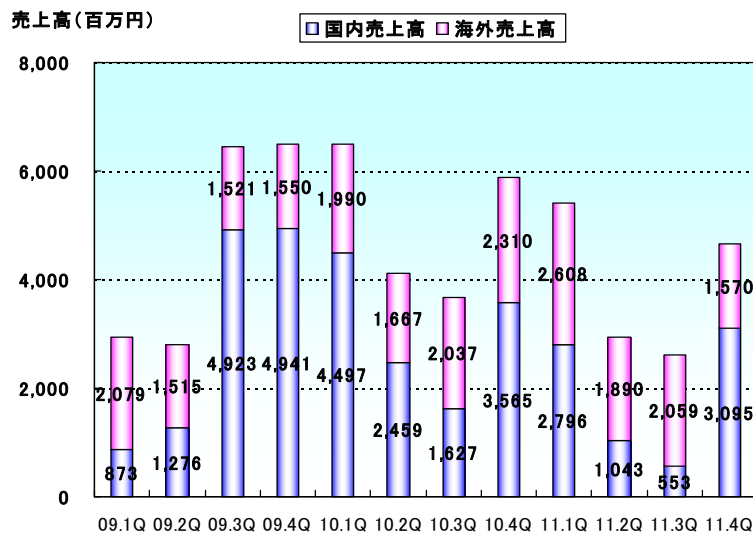
科目	2010年 9月期	2011年9月期				前期比 (%)	
		上期		下期			通期
		1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	20,155	5,404	2,933	2,612	4,665	15,616	△22.5
営業損益	279	778	△399	△863	942	457	63.9
経常損益	187	756	△406	△858	1,006	498	166.1
当期純損益	277	609	△249	△835	991	517	86.4
設備投資	107	14	326	52	72	464	333.6
減価償却費	5,481	843	823	841	835	3,343	△39.0
研究開発費	241	70	35	72	49	227	△5.9

## 減価償却前営業損益 (EBITDA)の推移



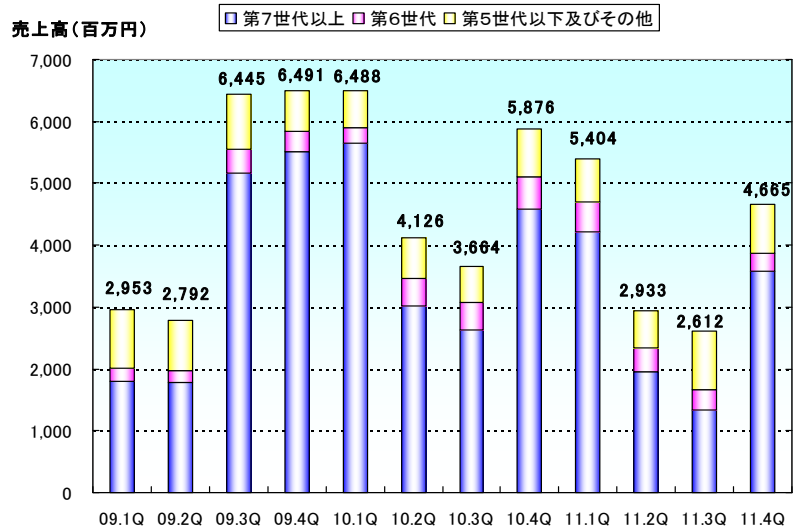
※減価償却前営業損益とは減価償却費を加算してキャッシュベースの利益を示したものです。(営業利益 + 減価償却費)

## 地域別フォトマスク売上高の推移

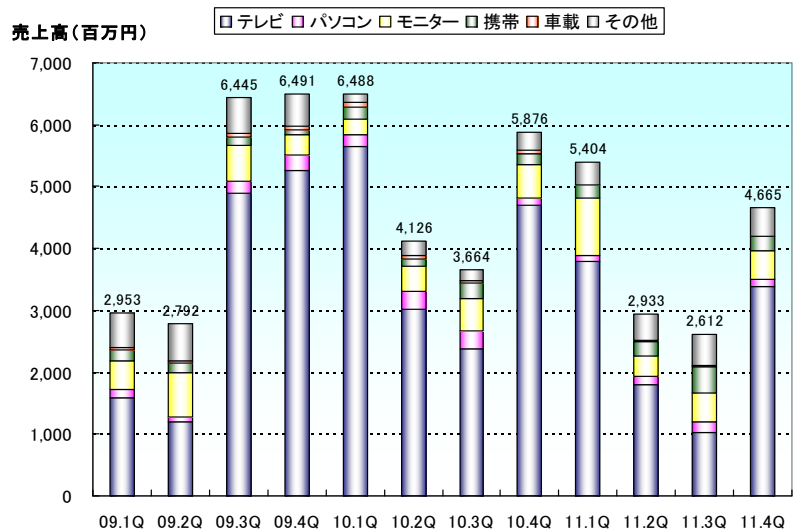


(注)海外向け売上高は間接輸出売上高を含んだ数値となっております。

## 世代別フォトマスク売上高の推移



## アプリケーション別フォトマスク売上高の推移

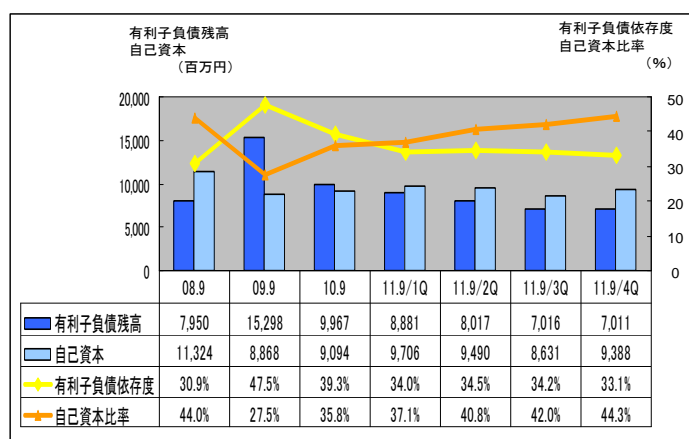


## 連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)

科 目	2010年 9月末	2011年 9月末	前期末比
(資産合計)	25,380	21,180	△4,199
現金及び預金	2,838	2,551	△286
受取手形及び売掛金	6,885	5,586	△1,299
たな卸資産	1,460	1,758	298
その他(流動資産)	746	830	83
有形固定資産	12,955	10,091	△2,863
無形固定資産	210	137	△73
投資その他資産	284	224	△59
(負債合計)	14,971	10,539	△4,431
支払手形及び買掛金	3,965	2,823	△1,142
長期借入金(1年以内返済含む)	9,965	6,833	△3,131
未払法人税等	24	25	1
その他(負債)	1,015	857	△158
(純資産合計)	10,409	10,641	231
自己資本(株主資本、評価・換算差額等計)	9,094	9,388	294
自己資本比率(%)	35.8	44.3	8.5
有利子負債残高	9,967	7,011	△2,956

## 自己資本及び有利子負債の推移



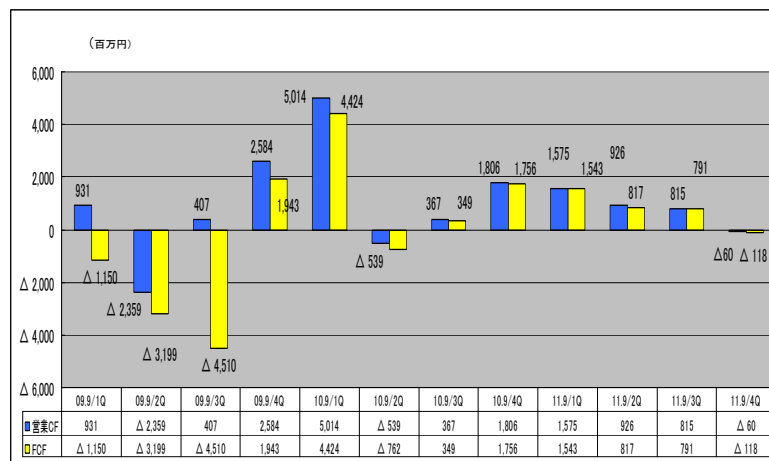
※有利子負債依存度は、総資産に占める有利子負債の割合(%)を示したものです。

## キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

科 目	2010年9月期 (累計)	2011年9月期 (累計)
営業活動によるキャッシュフロー	6,648	3,256
当期純利益	277	517
減価償却費	5,481	3,343
その他	890	△604
投資活動によるキャッシュフロー	△881	△223
フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF)	5,767	3,032
財務活動によるキャッシュフロー	△5,303	△3,311
現金及び現金同等物の増減額	424	△336
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,838	2,551

## フリー・キャッシュフローの推移



## 2012年9月期の見通しについて

### FPD市場の動向

#### ・投資動向・稼働状況について

投資動向: 大型投資はほぼない。OLED及びLTPSへの設備投資は継続。  
稼働状況: 大型パネルの生産調整は2012年前半まで続く模様。中小型は新規ライン立ち上がり時期により、供給過剰、生産調整に入る可能性あり。

#### ・技術動向について 「より軽く、薄く、美しく、早く、更に便利に！」X「生産性向上、効率化、歩留まり改善」

酸化物半導体 (IGZO): 2012年よりタブレットで量産スタートの予定。

LTPS: 液晶用G5.5~6ラインの立ち上がりが予定。

OLED: 韓国G8のパイロットラインの立ち上がりが予定。

4K2K: 各パネルメーカーとも超高解像度のパネル開発を継続。

タッチパネル: インセルタッチパネルの量産化スタートか？

### 当社グループの取り組み

#### ○ 技術力強化、生産体制の効率化

→ 『付加価値の追求』と『コスト構造改革』への取り組み

・先進的な技術課題への取組による技術力NO1メーカーとしての体制強化による付加価値の追求

・京都工場、滋賀工場、FINEXでの柔軟なOEM供給体制の強化、製造体制の更なる効率化を追求

## 2012年9月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2011年 9月期 (実績)	2012年9月期(計画)		
		上期	下期	通期
売上高	15,616	7,200	7,800	15,000
営業利益	457	0	100	100
経常利益	498	0	100	100
当期純利益	517	30	40	70
設備投資	464	350	700	1,050
減価償却費	3,343	1,100	1,220	2,320
研究開発費	227	150	150	300
一株当たり配当金	1,300円 (うち記念配当300円)	—	—	1,000円

## 経営課題

\* 新規事業の早期事業化

\* 大型総合フォトマスク事業の  
No.1体制の強化

\* 事業構造改革

## <TOPICS> パネルメーカー設備投資動向について

液晶とOLED用パネル工場の建設計画

